

2024年9月18日 [保険ブローカーに聞く](#)

《連載》 保険ブローカーに聞く ③ 総合リスクマネジメントの充実に貢献 J E I B ジャパン

トップの市場占有率を争う上位P & Iブローカー2社とパートナーとして連携することで、P & I 保険に関するノウハウを高めているJ E I B。J E I Bジャパンは、日系初のロイズ・ブローカーとなった歴史をもつジャパンイングランドインシュランスブローカーの本邦子会社だ。企業の総合リスクマネジメントの充実に貢献することを目指しているが、主力分野の一つがP & I 保険となっている。グローバル・スタンダードな保険料交渉力、パートナーブローカーとの連携によるサービスを日本マーケットに提供し続ける。

同社の小田洋社長、河合寿宜船舶営業部長がインタビューに応じた。質疑応答の概要は以下のとおり。

— P & I 保険に関して船主を始めとする関係者に知って頂きたいこと、訴えたいことは。

「承知の通り、P & I クラブは船主様が海難事故等により負担を余儀なくされる責任を、クラブに所属するメンバー様全員で相互に応分の責任分担を行い、助け合うことを目的とした集合体から歴史的に発展している。クラブは、規模・利益の追求ではなく、補償の充足を最大の目的とする集合体だ。その精神は原則的に維持されている。その原則では営利目的の保険会社とは異なり、規模や利益を追求するために、業界内で競争する必要は本来ない」

「しかし、ほとんどのクラブが、その管理運営をメンバーからアウトソーシングされ、営利企業を管理会社として運営されてきたことから、その管理会社は、資本主義世界の原理に従い、業界内の規模・利益の追求を指向する傾向も生じるようになった。このような傾向は、メンバーの利益に必ずしも合致しないかもしれない。なぜなら、もし、クラブによるいきすぎた規模・利益の追求が失策に陥った場合、その損失は、メンバーが粛々と積み上げてきたクラブのファンドを取り崩して補填しなければならなくなるからだ」

— 今保険年度の状況と来保険年度の保険料見通しは。

「クラブの支払保険金に目を向けると、海難事故の被害物件に関する修復費用は高額化し、乗組員の疾病・傷害についても、乗組員保護の条約の厳格化などが加する傾向にある。一方、クラブの収入面においては、クラブ間の契約獲得競争、船の新造船へのリブレースに伴う、総トン数あたりの保険料低下傾向などにより、料率は減少傾向にあると考えられる。それに加え、件数は落ち着いたものの、時折事故による損失額も高額化している。これらの状況を反映した直近の各クラブの決算公表においては、国際グループクラブのコンバインド・レシオ平均は、約97%と落ち着いてきたものの、

サイトの利便性向上や広告配信などのため端末情報等を利用しています。詳しくは「個人情報保護方針」をご覧ください。



複数のクラブでは100%を超えており、総じて、さらに保険引受損益の改善が必要だ」

「一方で、S & Pによる各クラブの格付けは、各クラブ本部が所在する各国の保険規制当局が指導の参考とする指標である他、再保険市場を含む保険業界においては、一般的に“A”ランク維持が、財務基盤の健全性を示すものと認識されることから、各クラブはS & P格付けを“A”ランク以上に維持することが命題となっている。この命題は各クラブがフリーリザーブをより高額に維持する理由の一つでもある。これらから、近年続けられてきたG Iは、2025年更改においても、各クラブの財務状況による相違が、以前より顕著になるものの、業界平均で5%前後と予測する機関が多くなっている」

— 保険更改に関連したサービスについて、貴社の特徴は。

「J E I B ジャパンは、日系初のロイズ・ブローカーとなった歴史をもつジャパンイングラウンドインシュランスブローカーの本邦子会社だ。企業の総合リスクマネジメントの充実に貢献することを目指しているが、主力分野の一つがP & I 保険だ。本年6月の天皇陛下の訪英に際しては、当社会長はロンドンにて接見をいただいた。これは、会長が2020年4月まで英国日本人会の会長を務めさせていただいたこと、および2017年8月の日英共同宣言に盛り込まれた英国における“桜植樹日英親善プロジェクト”においてリーダーシップを発揮させていただき、既に8000本を超える桜が英国に開花しつつあることが、日英友好に貢献したと評価されている所以だ」

「P & I 保険は、保険のなかでも最も特殊な保険商品であることから、保険ブローカーとして顧客に最高のサービスを提供させていただくには、高度なノウハウと技術に裏付けされた専門性が必要だ。世界のP & I 保険業界の中心地といえる英国において活動し、卓越したノウハウを有する英国保険ブローカーの技術力を活用することができれば、顧客によりプロフェッショナルなサービスを提供できるものと考えている」

「当社はロンドン本部が醸成した英国保険業界における人脈を駆使し、業界でトップの市場占有率を争う上位P & Iブローカー2社とパートナーとして連携することで、P & I 保険に関するノウハウを高めている。さらに最も厳しい対応が必要とされるギリシャの海運市場において、これら2社は他の国際保険ブローカーをも排除した2社寡占体制を構築している。より柔軟な対応が必要なギリシャ市場におけるP & I 保険ブローカーのノウハウを駆使できるのは、J E I Bの強みであり、単に商業的圧力のみによるものではない、グローバル・スタンダードな保険料交渉力は、国際競争に晒されている日本の海運業界に明るい未来を提供し、

サイトの利便性向上や広告配信などのため端末情報等を利用しています。詳しくは「個人情報保護方針」をご覧ください。





小田洋社長



河合寿宜船舶営業部長

関連記事

- ＞ 《連載》 保険ブローカーに聞く④、マーシュブローカージャパン、総合的なソリューションを提供
- ＞ 《連載》 保険ブローカーに聞く③、リード保険サービス、英ミラー社との提携でサービスを充実
- ＞ 《連載》 保険ブローカーに聞く②、J E I B ジャパン、情報収集力強化、顧客への還元も
- ＞ 《連載》 保険ブローカーに聞く①、エーオンジャパン、日本で初の船舶保険セミナー開催
- ＞ 《連載》 保険ブローカーに聞く④、ウィルソンジャパン、日本の人員増強、知識と知見が強み
- ＞ 《連載》 保険ブローカーに聞く②、マーシュブローカージャパン、人員拡充で日本の体制強化
- ＞ 《連載》 保険ブローカーに聞く①、J E I B ジャパン、情報提供力磨き、国内で増す存在感
- ＞ 《連載》 保険ブローカーに聞く④、ウィルソンジャパン、P & I 保険が専門、保険取扱量が増加
- ＞ 《連載》 保険ブローカーに聞く③、リード保険サービス、国内顧客と強固な関係、新サービスも
- ＞ 《連載》 保険ブローカーに聞く②、マーシュブローカージャパン社、サイバーセキュリティの案件増加
- ＞ 《連載》 保険ブローカーに聞く①、J E I B ジャパン、海外大手と提携、情報提供力に強み

海事プレスに掲載の記事・写真等の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

© Kaiji Press Co., Ltd. All rights reserved.

No reproduction or republication without written permission.

サイトの利便性向上
や広告配信などのため
端末情報等を利用
しています。詳しく
は「個人情報保護方
針」をご覧ください。

